



精神作興の第一日

平市の詔書奉讀式

縣社子歛倉神社々頭に於て
式後武運長久祈願祭

平市十日の國民精神作興週
間第一日に於ける詔書奉讀式
は午前九時半から市の鎮守縣
社子歛倉神社に各官公署長、
市會議員、振興委員、青年團
及び各婦人團體幹部、行政區
長等百五十餘名參列の上社頭
に於て皇城並に伊勢神宮を
遙拜の後市長代理伊藤助役の
詔書奉讀終つて式を閉ぢたる
後拜殿に移つて皇威宣揚と武
運長久の祈願祭を執行し淺水
勢中校長から事變に關する講
話があつて同十一時散會した

山林保險の 指導講習

今日平市に於て
縣山林課では農林省に設けら
れた山林保險法につき今日
午前十時から平市團休事務所
樓上に石城郡下町村から關係
吏員一名づつを招集し原田技
手を派遣し右法規の説明指導
をなしたる後同事業普及の爲
出席全員に右に關する講習會
を開催して午後四時散會した

防空演習と防護團 九班に分れる体制

各班に活動する各種團體

平市では来る十六日から二十
三日までの八日間施行される
本縣下の防空演習に關し十一
一日午後一時市會議事堂に於
て防護團の結成式を舉ぐる手
筈になつてゐるが右演習には
左記九班に分れる体制を指令
されて居る各班係員等は日々
置かす決定される模様である

- ▲第一防護班本部 警備係
巡邏係（在軍 軍友 青年
團 青年學校 少年團）
- ▲第二防護班本部 警備係
燈火官制係 監視係（在軍
軍友 青年 同學校 少年

三丁目北裏の 三田小路を舗装

明春花期迄に完成すべく 關係地元が大乗り氣

平市内に於ける街路の舗装は
近年各區の自發で行はれ年次
見事に美化されつゝあるが先
年地元の有志等の發意で三田小
路と改名された三丁目北裏の
路と改名された三丁目北裏の
下水路通り關係者が豫めての
計畫を是非明春完成し遂ぐべく
今日夜區民會を開き市に寄
附する地元負擔金等について
打合せをなすまでに進んでゐ
る同街路の改修は新田町並
なる紅小路に倣へ現在の開溝
を暗渠に改め路面全部を舗装
するもので此の美化工事が早
來上れば路巾が約二間を擴ま
り延長九十間の總工費二千四
五百圓と見られてゐるから受
益者負擔の半額一千二百圓程
度で済む譯で市では地元の協
力が懸れば同工事を明年度
豫算に計上するものゝ如くで
ある

護國の華

草野軍隆〇〇兵、石城郡
上小川村高次郎（公三）氏の
次男で上海戦線に兩角部隊
で奮闘されてゐたが名譽
の戦死を遂げた同君は出征
前まで東京深川區清澄町二
の一五一柳澤方に同居し、
日本橋區久松町料理屋魚幸
の料理番をつとめ本年六月
同區飲食業組合から十年勤
織者として表彰されたほど
の眞面目な人であつた家庭
には妻か（三三）さんとの間
に二男がゐる

南町通りも 舗装計画

區長等の奔走
市内南町通りでは青木區長等

常識講座

ツラヴェラーは旅人の
ことだ、旅は愛いもの
つらいものと云ふが英
語でも面倒、苦勞、悶
着の類をツラブルと云
ふ、單にツライまたは
ツライアルと云へば經
験または試験のことだ

川前農産品

石城郡川前村では来る十七日
同村農會主催を以て公會堂に
農産物品評會を催す筈である
が郡農會から青山技師審査に
出張の由

四倉町の上水道 落成祝賀會

防空演習直後本十一月下旬 舉行に決し準備に係る

石城郡四倉町十數萬圓を投じ
て完成した上水道は豫期の成
績を上げて目下縣の竣功検査
中であるが町を挙げて喜ぶ落
成祝賀式は防空演習直後の今
十一月下旬中に舉行される筈
であるが同祝賀に合せて備す
べく心組んでゐた築港完成の
祝賀式は縣の竣功検査が遅れ
るので明春行はれることにな
るらしく尚ほ上水道の落成祝
賀には漁地としての同町を一
般來賓に紹介する外海水浴地
として磐城舞子の仁井田浦勝
地を控へ此の宣傳にも力を入
れるものゝ如く當日は各種の
催しを以て準備に係らう

酒糟資源の開發に 數百町歩の甘藷畑

候補地に選まれた相馬の原町 地元は大喜びで便宜提供

東北振興策の一として酒糟資
源地を東北に物色されてゐる
ことは既報の如く此の糧東京
に設立された大日本酒糟資源
開發協會ではこれを燃料國策
の見地より力を入れて原料甘
藷の栽培を東北に目論し藤ね
の栽培を東北に目論し藤ね
を適地を探してゐた結果本縣
原町地方を候補地に選び同町
當局とも折衝を重ねたところ
部民を擧げて之れを歓迎諸般
の便宜を供與すると云ふこと
になつた爲め近く前記協會か
ら専務理事清水國藏氏一行が
來町本格的の調査を行ふ筈で
あるが同町及び付近には數百
畝金した

銃後の赤誠

石城郡玉川村の南富岡國防婦
人會では休日を利用して薪木
を採りまた蠶をとつて得たる
収入十三圓五十錢を國防費に
獻金した

石城郡豐開村の内字西原
一〇三吉田芳太郎さんは伴が
應召したが疾病で戻されたの
を残念がつてゐるので野菜の
賣上金の中から金五圓を國防
費へ

村税免除

特戸制の金額
石城郡神谷村では昨日午前
九時から村會を招集し出征軍
人家族に對する特別戸數割の
全額免除を附議決定したが右
の免除は普通軍事扶助救護法
によるものだけと云ふことに
なつてゐるが同村ではこれを
財産の有無に拘はらず應召家
族一般に全額免除をなすこと
に決定した

石城郡内郷村小學校生徒が去
る十月申合せた小使の節約
及び廢物利用で得たる二十二
圓五十六錢を國防費へ

石城郡澤渡村小學校の高一、
二男女生六十六名は軍用機獻
納費の中へ獻金すべく無駄を
せぬ中合せを自治會で約束し
蠟取りその他で獻金達成に勵
んでゐると

石城郡好間村の日曹小田鐵業
所内の山中友子さんは生活費
に無駄を省いてゐた金五圓を
皇軍慰問費に寄附す

御馳走酒實は 詐欺の手

常習の前科九犯者
栃木縣芳野郡茂木町字館田生
れ當時住所不定前科九犯秋田
末松（四）は昨日九日夜石城郡内
郷村磐城炭礦の某飯場に至り
豫めて顔見知りの友達二名に
斯度自分も警族に使役された
ので色々世話になるから一杯
買はうと誘ひ出し前記二人の
案内で同村の某飲食店に登
樓し饅頭飲んだ今日午前十一
時頃勘定となつて金八圓餘の
支拂ひに無一文のため兩人に
喧嘩を吹きかけ且つ使錢を返
さず其まゝ逃走せんとすると
ころを密行中の上遠野駐在巡
査に取押へらる警に於て取調
中であるが秋田の前科は詐
欺と横領で同一手段の常習者
である

砂利屋が土丁を 姦通の告訴

女は子供三人の母
石城郡植田町の仁井田屋住砂
利採取業潮出井清（四）は隣家
に住む土工藤原勝生れ藤川鐵
（三）を昨日九日表を姦通し共
に平區裁判所へ姦通の告訴を
なした

落盤で入山坑夫 二名即死す

石城郡湯本町の入山炭礦探採
夫松本甚五郎（三）同後山夫齊
方光（三）は昨日九日午前十時
頃同礦第四坑内で作業中落盤

なしたが原告の語るところは
藤川は本年六月頃から妻と共に
他目を忍んでゐるもので尚
ほなほは十三才を頭に三人の
子供の母である

今夜は西の風、晴
明日は北西の風、晴一時曇
小名瀬測候所

業方

飼育難の 銀黒キツネ

（三）二十ヶ年間バカさ
れたやうな苦心談
この苦心努力は我が子を育
る以上の惨憺たるものでし
、これが我が國銀黒狐の先
祖となつた譯であります。翌
年十一月から二十三頭生れ
幸ひ一頭も死にませんでした
六年目に五百頭に達し、はじ
めて百頭を屠殺、毛皮として
世に遺しました。
然し當時は毛皮も殊に銀黒
狐など高級品として日本で用
ひるものなく、全部ロンドン
ニューヨークへ輸出いたしま
した。そのうち社長が久原房
之助氏から島徳藏氏に替り狐
も一緒に十二萬七千圓の養狐
場が一躍三十三萬圓で買収さ
れ渡邊博士にも相談して内地
の山岳地帯でも何んの産
業もないところを選んでこの
淺野山麓六ヶ原の高原海拔
四千尺、夏季も八十度を超え
ず、冬は零下十五度以上で積
雪は僅か一尺五寸以内と云ふ
理想的養狐地を見出したので
あります。昭和三年十一月こ
ゝに養狐場を開設、最初は試
験的に四番を飼育したところ
繁殖率十五割と云ふ北海道、
樺太以上の好成绩で翌四年に
は早くも毛皮八枚を採り東京
會館で五日間に全部賣却その
後外國の市場へ輸出したとこ
ろが國産養狐の本場、樺太
産よりも五、六割高く賣れた。
私は繁殖率は非常によいが
或は毛皮の品質が劣りはせ
ぬかと心配してゐたところ
とて、この好成绩に一層力
づけられ以來今日まで一家

を求めて毛皮採掘に精進
たして居ります。

牛も豚も優良品の自慢
肉の御 三三三 平市
用命は 三三三 田町

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科

診療時間 午前八時より 午後九時まで

醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一零

院醫尻江

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二

平市新川町「電話三六九番」

お醤油は ヤマフル

醤油味贈 たっぷり正宗 節約食料品

山崎合名會社

明治生命會社代理店 山崎與三郎

本年流行 ヘルベツト地 婦人シヨール

三八〇より一三〇〇まで

豊高陳列

ツルヤ

デリーサービス

日	土	金	木	水	火	月	割
ラン	ビ	コ	メ	エ	チ	カ	割
テ	ロ	ロ	ン	ビ	ヤ	ツ	品
キ	フ	フ	ポ	フ	ツ	レ	目
キ	ケ	ケ	ル	ラ	ツ	ツ	定
キ	キ	キ	ケ	イ	ツ	レ	目
キ	キ	キ	ケ	イ	ツ	レ	定
キ	キ	キ	ケ	イ	ツ	レ	目
キ	キ	キ	ケ	イ	ツ	レ	定

特にマルトモの ランチは...

RESTAURANT MARUTOMO

堂食モトルマ

高品質の 食品 産地直

山崎合名會社

外科一般 泌尿器科

北川外科

平市新川町二七（電話四六四）

醫師 北川芳夫 醫師 三浦常保

サロソ

飲食 喫事 酒場を兼ねた。

町田平 二五三電

新時代の要求

平市南町 看護婦會

電話三〇七

内科、小兒科 外科、花柳病科

高久病院

平市田町 電話五一三番

院長 醫學士 高久忠

スヘインG・H・N 元詰

ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒 1・10

西村屋藥舗（電3）